

大森市長の大盛コラム

～“わくわくする”桃太郎のまち岡山の実現に向けて～



第21回 空き家購入補助金制度がスタート！

～空き家で困ったら相談を～

皆さんは「空き家」と聞くとどんな家を思い浮かべますか？「空き家」には老朽化し危険なものもありますが、適切に管理されるなど「まだ住める家」も多くあるんです。

岡山市の住宅は増加傾向にありますが、空き家も10年前に比べ1.5倍の約1.3万棟、空き家率は14.5%で政令市の中で4位と高い状況にあります。しかし、そのうち8割以上が「まだ住める家」となっています。住宅取得にあたり新築志向が根強く、中古住宅に目が向きにくいことも1つの要因ではないかと考えています。

このまま空き家が増加し続けると、周囲への「危険性の増大」や「生活環境の悪化」などが懸念されるため、さらなる対策が必要と考え、今年度から取り組みを強化しました。

空き家対策で重要なのは、危険な空き家の解消と空き家の利活用の促進です。

まず、危険な空き家については、法律に基づいて、適切に取り組み、除却を進めていきます。空き家の利活用の促進に向けては、「空き家情報バンク」により空き家を貸したい・売りたい人と住みたい・借りたい人をつなぐ手伝いを行っています。

また、今年度から空き家購入補助金制度をスタートしました。さらに、解体やリフォーム助成の拡充、子育て世帯に対する助成の増しなども行っています。

空き家は放置すると倒壊リスクや税金などの維持費の負担などリスクが大きくなります。岡山市では空き家に関する困りごとについて相談できる窓口や専門家によるサポートを行っていますので、ぜひお気軽にご相談ください。

空き家問題の半数以上が相続に起因するといわれており、トラブルになるケースも少なくありません。そうならないためには、家族それぞれの意向を確認することが重要です。家族や親族が集まる機会には、ぜひ「住まいの終活」についても話し合っていたいただきたいと思います。



岡山県警察本部 からのお知らせ

災害に備えて

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」、「共助」、「公助」の連携・協力が重要です。

◆自助

自助とは、災害に備えて自分でできる対策をすることで、災害対策の基本となります。「自分（家族）の身は自分（家族）で守る」との意識で、平素から非常持ち出し袋の準備、避難場所・経路の確認などに取り組みましょう。

◆共助

共助とは、災害時に地域で助け合うことです。円滑に助け合いができるように平素から顔の見える関係づくりを進め、災害時には、地域で一丸となり、自力で避難することが困難な高齢者などの支援に取り組みましょう。

◆公助

公助とは、行政などによる公的な支援のことです。県警では、平素から県・市町村・消防の防災関係機関と連携を図るとともに、迅速な避難誘導、救出救助に資する各種訓練などに取り組んでいます。

平素の備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります！



みてきいて、もっと身近に。

広報番組

動画はこちら



テレビ

▶山陽放送 (RSK)

桃太郎の岡山Cityかわら版Z

「新しい認知症観」

8月15日(土)18時50分～、8月17日(月)22時57分～、

8月19日(水)4時25分～、

8月21日(金)金曜ライブ いまドキッ！ 内

▶テレビせとうち (TSC)

未来にリンク岡山 リンリン！

「健康ポイント」

8月22日(土)20時55分～、8月23日(日)15時55分～、

8月28日(金)21時54分～、8月30日(日)15時15分～

▶oniビジョン

いきいきおかやま／おかやま情報かわらばん

毎日7時30分～、12時～、月～金曜18時45分～、

土・日曜22時45分～

おかやまESDナビ

毎日7時50分～、11時20分～

ラジオ

▶RSK山陽放送ラジオ AM1494kHz

わかるかわる岡山市

8月4日・18日の各火曜16時10分～16時15分

▶レディオモモ FM79.0MHz

シティインフォメーションスクエア

毎週月～金曜18時45分～

岡山市長の大盛ラジオ

8月13日(木)8時20分～